

在宅で介護サービス などを利用しながら、 家族の介護を受けたい



高齢者実態調査アンケート結果

現在、町では医師、歯科医師、福祉関係者などの専門家や要介護者の家族、住民公募のかたなどで構成される「開成町高齢者保健福祉計画等策定委員会」において、第5期「開成町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成24年度～平成26年度）」の策定に取り組んでいます。

この計画は高齢者が住み慣れた地域で「健やかにいきいきと、自分らしく暮らせる生涯健康福祉のまちづくり」を基本理念とし、高齢者が健康で安心して暮らすことのできる社会の実現を目指していくものです。

計画策定にあたり、住民の皆さんのニーズや課題を把握するためアンケート調査を実施し、その調査結果がまとまりましたので概要をお知らせします。

問 介護健康課 ☎84-0320

調査内容

この調査は「60歳以上の介護認定を受けていない方」「介護保険の要介護認定者」「介護サービス提供事業者」に区分して、高齢者などの生活実態、介護サービスや高齢者保健福祉サービスの利用状況や今後の利用意向を把握することを目的として実施しました。調査対象ごとの回答数は表1のとおりです。

(表1)調査内容 (平成23年3月実施)

対象者	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
60歳以上の方(無作為)	700	485	69.3
要介護認定者	在宅サービス利用者	156	69.6
	施設サービス利用者	50	58.1
	介護サービス未利用者	47	68.1
介護サービス提供事業者	103	74	71.8

●家族構成は子どもや親族と同居が多い

60歳以上の介護認定を受けていない方の回答者のうち、子どもや親族と同居が42・3割、夫婦二人暮らしが37・1割となっています。要介護認定者の在宅サービス利用者では子どもや親族と同居が59割、夫婦二人暮らしは16・6割と介護サービスを受けている人は子どもとの同居率が高くなっています。

介護認定を受けていない方

健康状態は良いと感じる人が増えるが将来は不安

現在の自分の健康状態は「ふつう」と答えた人が3年前の調査から大幅に減り、「よい」「まあよい」と感じている人は合わせて37・4割で前回(20・5割)より増えました。一方で将来の生活に不安を感じているかの設問に対して

は、「とても不安を感じる」が13・0割、「多少は不安を感じる」が62・7割と将来に不安を感じる人が7割以上を占めています。

不安を感じるのとはどのようなことかとの問いに対しては、収入面のことより健康や病気に不安を感じています。

何かあったときの相談相手は「知人・友人に相談する」が前回より大幅に伸び、役場の窓口への相談も増加しています。

●健康づくりに関心

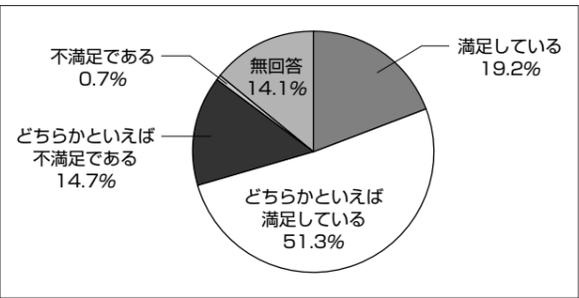
今後参加したい活動については、「趣味・娯楽」が最も多く、次いで「健康づくり」が46・8割と関心が高く、また、ボランティア活動について、「参加している」「参加したことがある」を合わせると42・7割と何らかの活動に参加しています。参加したきっかけは「役に立つことをしたいから」が56・5割と意欲的で、そのうち、自治会活動を通してのボランティア活動が52・7割と自治会活動の活発さがうかがえます。

介護保険の要介護認定者

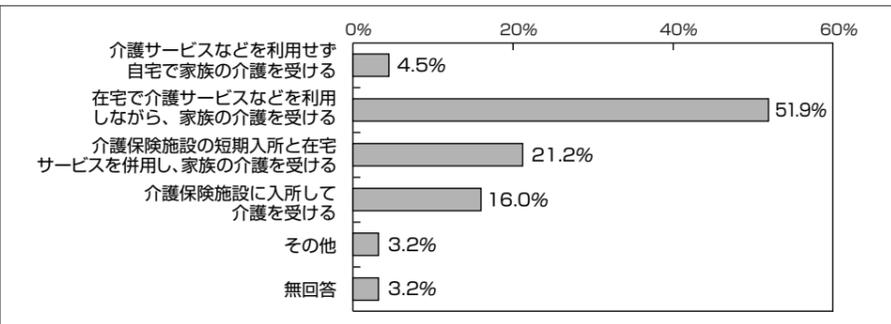
介護保険制度について「どちらかといえば満足」

①在宅サービス利用者
「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると70・5割で7割を占めています。一方、「どちらかといえば不満足」「不満足」を合わせると15・4割となっています。【図1】

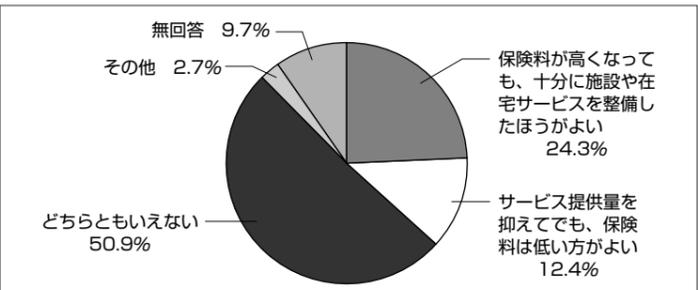
【図1】あなたは介護保険制度全般についてどのように思いますか。(単数回答)



【図2】あなたが希望する介護のあり方は次のうちどれですか。(単数回答)



【図3】介護保険料は、介護給付費の一部に充てられており給付費の増減で保険料負担が変化します。介護保険料の負担について、どのように思いますか。(単数回答)



●在宅介護を希望

在宅サービス利用者のうちの7割の方が施設入所の申し込をみしていますが、今の状態では入所の必要はないと考えている人がほとんどで、在宅での介護を希望しています。

【図2】

また、介護保険料は、介護給付費の一部に充てられており給付費の増減で保険料負担が変化します。「介護保険料の

主な介護者は配偶者 または息子の妻

主な介護者は「配偶者」が28・2割と老老介護の現状があり、また「息子の妻」が25・6割と介護サービスが充実してきたとはいえ、まだまだ女性に負担がかかっている現状があります。

②施設サービス利用者
介護の施設に入所しているのは要介護4、5と重度で85歳以上の高齢者が半分以上を占めています。また、家族に仕事や学業があり、介護できる状態でなかったり、精神的・肉体的に負担が大変だったりと自宅で十分な介護ができない難しさが挙げられます。

③サービス未利用者
認定を受けていながらサービスを利用していない理由としては、申請したばかりでまだ入院中のため、また、今のところ自分で生活できるが、いざというときのために認定を受けておきたいという方が多くなっています。

介護サービス提供事業者

円滑な事業運営を進めていくうえで、「事務作業が多い」「従業者の確保が難しい」に困難を感じる事業者が多いことが課題となっています。

また、介護保険制度が円滑に運営されていくためには、町や事業者同士など情報を交換する機会が必要と感じている事業者が多くなっています。

今回のアンケート結果を踏まえ計画策定を進めていきます。素案がまとまりましたら、パブリックコメントなどで町民の皆さんから計画に関する意見を募集しますので、気軽にご意見をお寄せください。